

公益社団法人小田原青年会議所

創立 70 周年に向けたアクションプラン

1. 小田原青年会議所の現状(課題)

- ①出席率の低下
- ②会員同士の交流機会の減少
- ③会員数の減少
- ④退会者の増加

主に①～④の要因が負の連鎖を起こし(図①)、会員の当事者意識が薄れてしまっている。

2. 策定の目的

単年度では醸成することが困難な会員の当事者意識を醸成する 5 年間のアクションプランを作成する。現状の課題を解決し、当事者意識が向上する組織の好循環を目指し(図②)、創立 70 周年に向けて活気ある組織の礎を築く。

3. アクションプランで目指す小田原青年会議所の理想の姿

現状における課題が改善され、会員が活動しやすく、会員数が確実に増加し、当事者意識が芽生え、活気に満ちた小田原青年会議所を目指す。

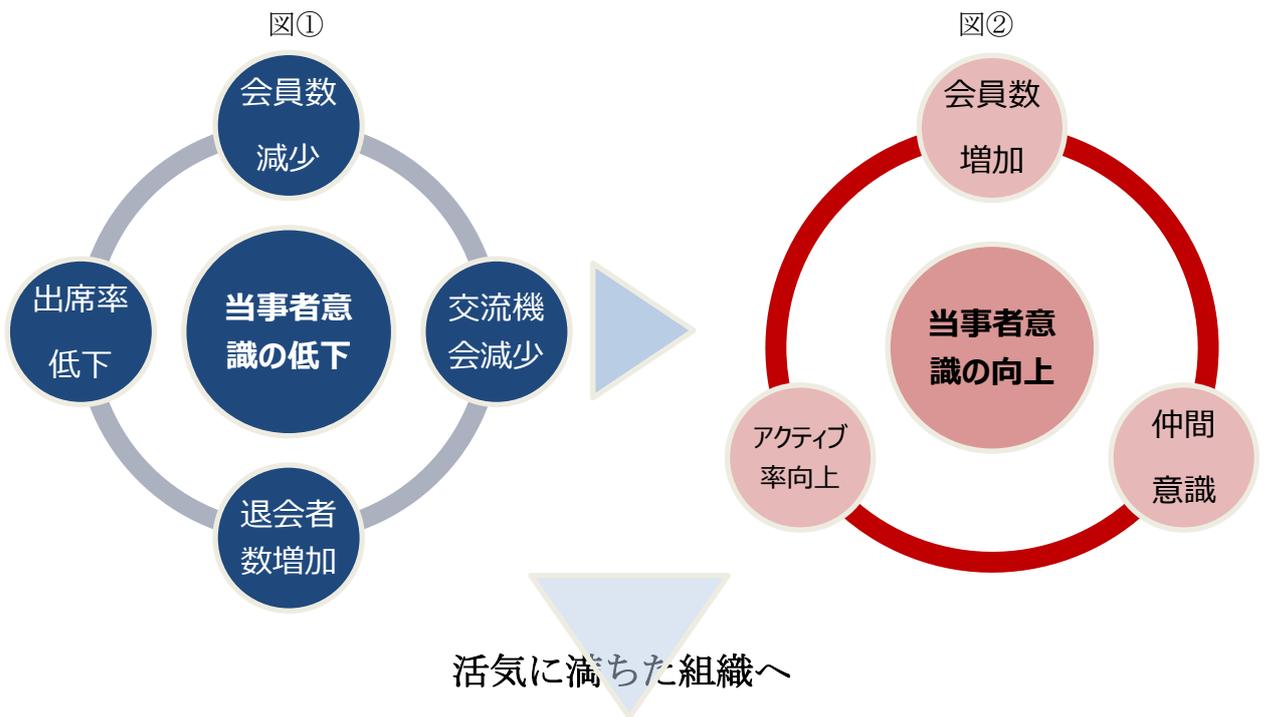
更に、活気に満ちた小田原青年会議所が地域に認知され、インパクトを与え、必要とされる団体となり、地域から理解と協力を得て、会員になりたいと思える好循環を目指す礎となる。(図③)

4. アクションプランの位置づけ

小田原青年会議所会議所が掲げる地域ビジョン「世界を感動させる観光文化都市をめざして」実現に向けた「次代に向けた三大指針～そして未来へ～」を実行していくために、活気に満ちた小田原青年会議所の組織の基盤を改めて整備するために行う 5 年間のプラン。

5. アクションプランの運用方法

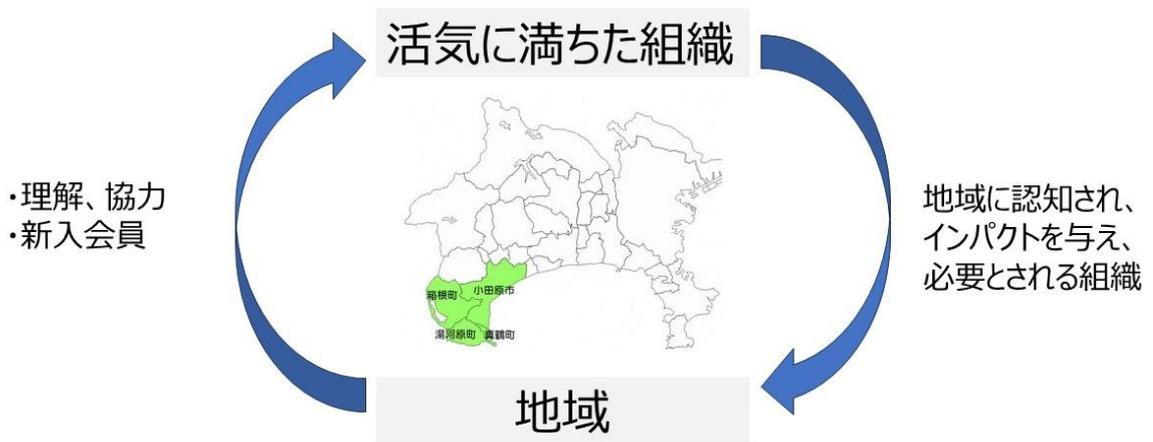
毎年 2・8 月総会にて会員内の進捗共有を行い、必要であれば 11 月総会にて変更を行うことで、進捗や状況に合わせたプランとなるようにいたします。



図③



小田原青年会議所が目指す理想の地域循環



Be the Shine

【具体的な取り組み内容】

①出席率の向上に向けたアクションプラン

- 子ども参加前提の例会構築
 - ・例会における基本を子ども参加可能とする。
 - ・事業構築段階から子どもの対応を考慮する。
- 出席動員の徹底
 - ・スケジュール共有方法の検討
(アジェンダシステムを閲覧する習慣をつけるために、毎理事会の報告事項に LOM スケジュールに記載し、委員会において確認する。)
 - ・委員会スケジュールの共有(スプレッドシートの活用)
 - ・上長からの出席の意義、メリットを示した委員会メンバーの動員
 - ・出欠確認への返信率 100%
 - ・委員長会、幹事会の横の繋がりの強化及び管理 (毎月開催の定例会化)
- 時間帯にしばられない会議の運営
 - ・モーニング、ランチセミナーの開催
 - ・Zoom、LINE ミーティング等の活用

②会員同士の交流機会の増加に向けたアクションプラン

- 交流機会の増加
 - ・月 1 回程度の交流(飲み会、スポーツ、ボーリング、食事会など)
 - ・家族交流例会の開催
 - ・例会後の懇親会の開催
- LOM 内部会の開催
 - ・LOM 内における業種別交流会・地域会の開催
 - ・同好会の活動内容の周知 (総会にて活動報告、会員募集の時間を作る)

③会員数の増加に向けたアクションプラン

- 会員数が純増する、実現可能な目標数の設定
 - ・毎年 10 名以上の会員拡大
- 対外認知度の向上
 - ・SNS を活用した広報の充実
 - ・ランドマークとなる事業の検討
- 拡大体制の構築
 - ・担当者だけに負担がかからない拡大体制
 - ・拡大支援金制度の構築、運用

④退会者数の減少に向けたアクションプラン

●JC 活動への理解度向上

- ・ 家族例会の開催、家族への感謝を表す旅行(事業)等の開催

●組織のフレキシブル化

- ・ ワークライフバランスを考慮した組織構成

●新入会員への研修機会の提供

- ・ JC 活動の意義、目的を新入会時にガイダンスする体制の構築

●相談・フォロー体制の強化

- ・ 入会 2 年未満の会員へのメンター制度の構築
- ・ 委員長会・幹事会へのフォロー体制の構築
(委員長会には室長もしくは副理事長が出席し、幹事会へは副委員長が出席し、フォローする。

会員拡大及び出席率の目標値

年数	卒業人数	会員数 (純減)	拡大数 (65 名目標)	期首人数	2028 年度に 出席率 80%
2023 年	8 名	50 名		56 名	63%(現状) 31.5 名
2024 年	3 名	42 名	プラス 10 名	42 名	65%目標 27.3 名
2025 年	5 名	39 名	プラス 10 名	49 名	68%目標 33.3 名
2026 年	6 名	34 名	プラス 10 名	54 名	71%目標 38.3 名
2027 年	1 名	28 名	プラス 10 名	58 名	75%目標 43.5 名
2028 年	4 名	27 名		67 名	80%目標 53.6 名